

ガーナでお絵描き  
くれよん プロジェクト 49号

このところ暫くの間、手ぬぐい作りを実施していた様子をお伝えして、手ぬぐい作りの中から生まれたプロジェクト“和デインクラ”を手掛けてきた中学3年生は6月に高校受験を終え、中学生生活に幕を閉じました。この中学3年生は、5年生の時から私の工作やお絵かき、手芸の授業を受けています。5年間の間で、どれが楽しかったのか？と聞くことは出来ませんでした。経験したことが、子どもたちの無限の可能性の引き出しを開けるきっかけとなっていてくれたら嬉しいなと思います。今後も子どもたちが持っている無限の可能性の引き出しを開けられる授業をおこなっていきます。今回の報告書では、5月におこなったトイレットペーパーの芯を使った工作をお伝えします。日本の小学校の工作の授業だと、工作に使う材料、例えば空き箱、新聞紙、毛糸、ボタン等はおそらく各家庭で用意してもらおうようにしていることでしょうか。しかし、ここガーナでは空き箱、毛糸、ボタンを各家庭で用意するというのは安易なことではありません。今回の材料は、トイレットペーパーの芯。トイレットペーパーを使用している家庭も少ない村の学校です。トイレットペーパーもたいへん貴重で、用を終えた後は、使い終わったノートをくしゃくしゃと丸め柔らかくしてから使っ

ています。トイレットペーパーを使用している家であってもトイレットペーパーの芯を工作に使う為に、わざわざ取っておくということはないでしょう。トイレットペーパーの芯は、工作にいろいろと使えます。こつた事も体験してほしいなと感じています。今回、作ったのは“作って遊べるおもちゃ”です。バトミンソンの羽根の要領で、投げるとクルクルとまわるおもちゃです。芯となる胴体にくれよんで色を塗りました。また、芯を半分にしてブレスレットも作りました。ブレスレットというよりも、子どもたちは時間を書き、時計として楽しみました。



協賛 ペンてる株式会社様(すこやかレヨン)

報告 2016年7月3日 TOSHIKO